

あの夏の川のうた

作詞・作曲 小夏 鮎

- 1A)
見ておくれよ この川を
なんてのどかな景色だろう
まるで 百年も前から何も変わらぬみたいだ
- 1A')
ふと見れば 道端に
朽ち果ててゆく 小さな靴
誰が履いていたものか 誰にもわからない
- 1A")
季節ごとの花を咲かす
手入れの行き届いてた庭が
今は 名前も知らないつる草に覆われてる
- 1B)
あの夏の出来事は ぼくらの未来を変えた
だけど 思い出のきらめきは
決してけがされやしないよ
- 1C)
柱だけになった家
今はもう役に立たぬ線路
それでもなお 僕らは ここから離れられない
- 2A)
違う土地の言葉で ほがらかに話しかけてくれた
見知らぬ人のさしのべる その手の力強さよ
- 2B)
名前さえ知らぬまま 別れてしまった人よ
もう二度と会えぬとしても
決して忘れてたりしないよ
- 2C)
結んだ手のぬくもりを
したたり落ちる汗の尊さを
ぼくらのために汲んでくれた あの水の清らかさを
- 3B)
泥にまみれ くたびれた 小さな古い町は
きれいな水で洗われて やがて輝きはじめた
- 3C)
見ておくれよ この川を
なんてのどかな景色だろう
まるで悲しいことなど 何もなかったみたいだ
- 3C')
なくしたものは少くない
嘆きの声もいまだ残る
それでもなお 僕らは ここから離れられない